形E2C-EDA

1 動作モードを設定したい

動作モード切替スイッチで設定できます。

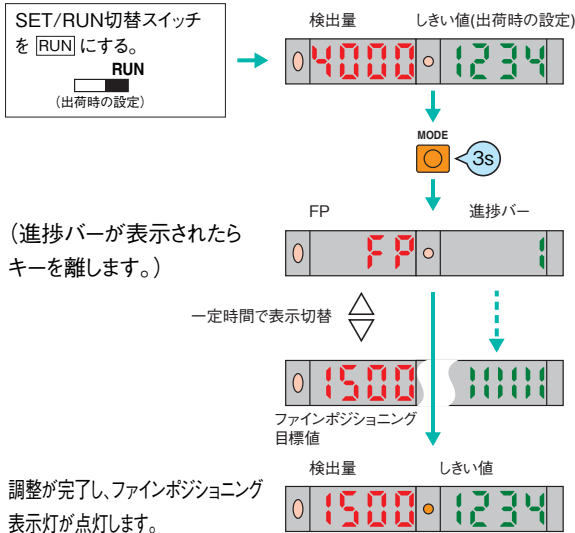
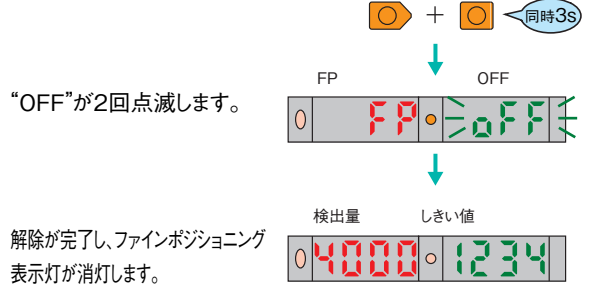
動作モード		操作
ノーマリーオープン	NO	NO（出荷時の設定）
ノーマリークローズ	NC	NC

*高機能ツイン出力タイプの場合
SETモードの「動作モード」で設定できます。
➔3ページ「5. 機能を設定したい」参照

*高機能ツイン出力タイプの場合(以降の調整内容に共通)
まずはじめに、チャンネル切替スイッチを調整/設定したいチャンネルにしてから各調整/設定を実行してください。

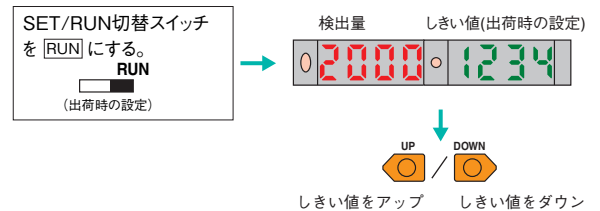
2 高精度で検出したい(RUNモード)

検出量を「ファインポジショニング目標値（1500）」近くに調整、その位置付近でのデジタル変化が大きくなります。

*「MODEキー」機能の設定が「FP」(ファインポジショニング)になっていることを確認してください。出荷時の設定は「PPT」が設定されています。
➔3ページ「5. 機能を設定したい」参照

*設定エラー時
進捗バー表示後、以下の内容が表示された場合はエラーが発生しています。

表示内容	エラー内容	対処
2回点滅 FP OVER	オーバーエラー ファインポジショニング実行時のワーク位置が遠すぎる。	最大感度で調整されます。FPを実行する際のワーク位置は、定格検出距離の約50%～150%としてください。
2回点滅 FP BOTM	ボトムエラー ファインポジショニング実行時のワーク位置が近すぎる。	最小感度で調整されます。FPを実行する際のワーク位置は、定格検出距離の約50%～150%としてください。

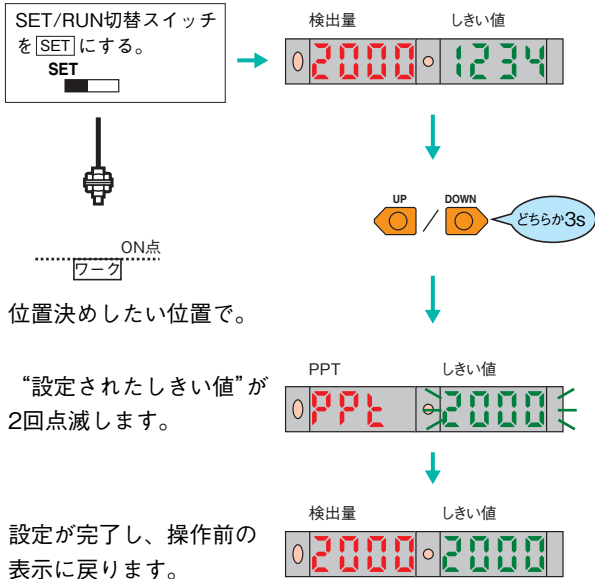
3 マニュアルでしきい値を設定したい(RUNモード)

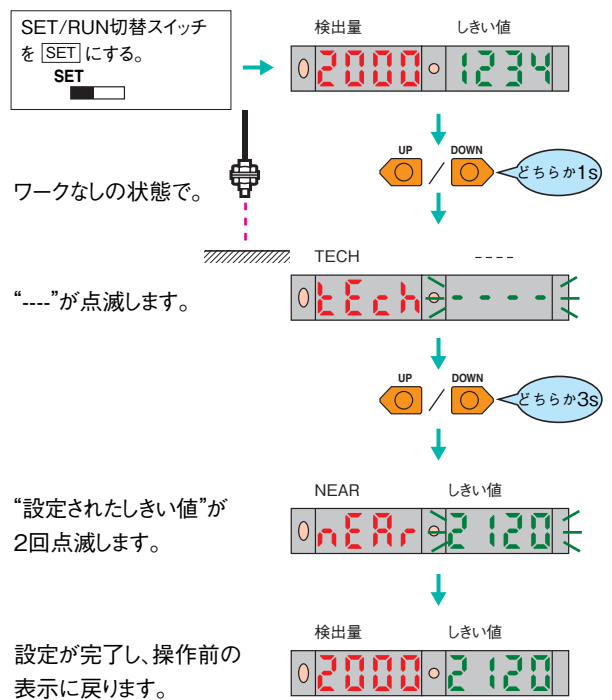
マニュアルでしきい値を設定できます。
ティーチング後にしきい値を微調整するときにも使います。

*「表示切替」機能で表示方法を変更している場合、キーを操作するとサブデジタル表示がしきい値に切り替ります。

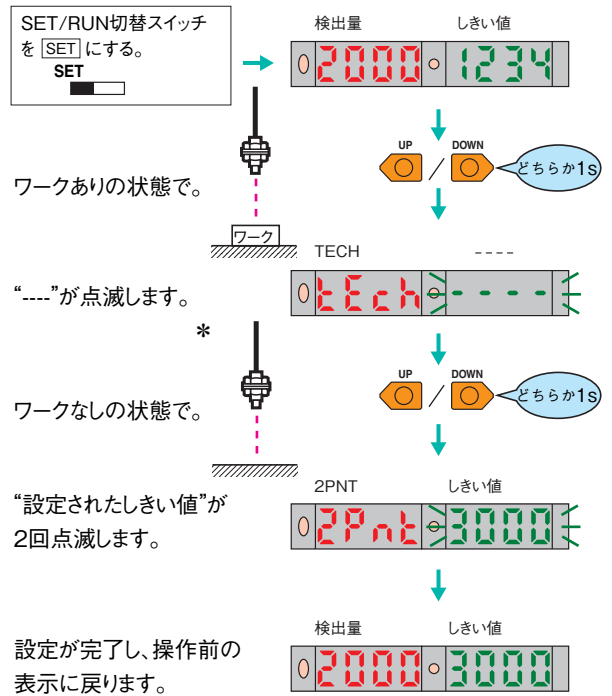
4 ティーチングでしきい値を設定したい(SETモード)

*ティーチング方法は、下記の3種類があります。最適な方法を選んでご使用ください。
*「MODEキー」機能の設定を「PPT」または「2PNT」(ティーチング)に設定することで、RUNモードにてティーチングが行えます。
*サブデジタル表示に"OVER"/"LO"が点滅表示された場合は、エラーが発生しています。
もう一度、はじめから設定し直してください。

4-1. 位置決めティーチング

検出量をしきい値として設定できます。

4-2. ワークなしティーチング

検出量の約+6%(最小差)をしきい値として設定できます。

4-3. ワークあり/なしティーチング

ワークありとワークなしの2点をそれぞれ検出し、その中間点をしきい値として設定できます。

* 一定時間で"2Pnt"と"余裕度"が切替表示されます。
詳細は、取扱説明書をご覧ください。

5 機能を設定したい(SETモード)

注1. 機能遷移に表示している内容は工場出荷時の内容です。
注2. 商品に添付の「取扱説明書」を参照ください。

ツイン出力タイプ

1. 形E2C-EDA11/EDA41/EDA6/EDA8の場合

表示	内容
no	検出時ON
nc	非検出時ON

表示	内容
SHS	最速
HS	高速
Stnd	標準
HrES	高精度
dIFF	微分動作

表示	内容
_｢‾	片側エッジ
_∏_	両側エッジ

	片側エッジ	両側エッジ
1	300μs	500μs
2	500μs	1ms
3	1ms	2ms
4	10ms	20ms
5	100μs	200ms

表示	内容
----	タイマ機能無効
OFFd	オフディレイタイマ
On-d	オンディレイタイマ
1Sht	ワンショットタイマ

1～20ms	1ms単位
20～200ms	5ms単位
200ms～1s	100ms単位
1～5s	1s単位

表示	内容
2oUt	チャンネルごとに出力
ArEA	2つのしきい値間に検出量がある場合に出力
SELF	自己診断出力
HEAd	ヘッド未接続または断線している場合に出力

表示	内容
PPt	位置決めティーチング実行
2Pnt	ワークあるなしティーチング実行
FP	ファインポジショニング実行
OrSt	ゼロリセット実行

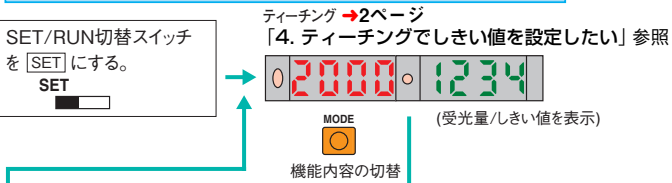
表示	内容
d123	通常表示
E21P	上下反転表示

表示	内容
oFF	機能オフ
(台数)	相互干渉を防止させたい台数を設定 設定可能範囲:2～5

表示切替

表示	内容
3112 2000 検出量 しきい値	検出量としきい値
P123 2000 検出比率 しきい値	検出比率としきい値 検出比率:しきい値に対する検出量の比率(%)
PEAK botM PEAK BOTM	一定時間(2s)のピークとボトムの検出量
o-PE c-bt O-PE C-BT	検出時のピークと非検出時のボトム検出量
検出状態	アナログバー表示 現在の検出状態をバーで表示します。 検出状態に近づくにつれて右側からバーが点灯していきます。(検出を赤、非検出を緑で表示します)
3112 PEAK 現在の検出量 PEAK	現在の検出量とピーク時の検出量
3112 2ch 検出量 チャンネル	検出量とチャンネル番号

外部入力タイプ

2. 形E2C-EDA21/EDA51/EDA7/EDA9の場合

6 便利な機能

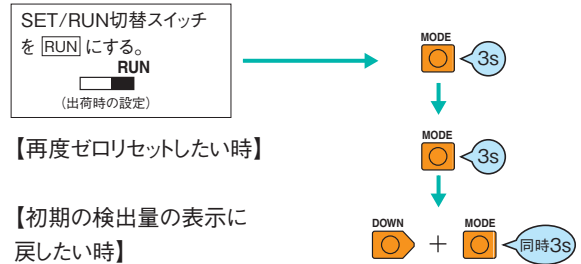
6-1. デジタル表示をゼロにしたい(ゼロリセット)

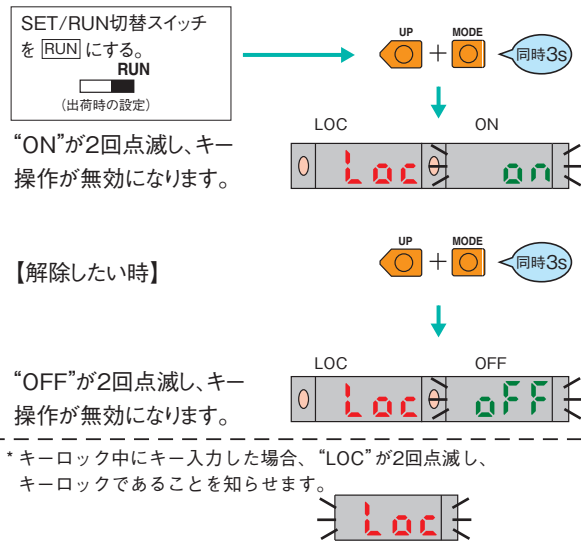
メインデジタルに表示されている受光量の表示を「0」にできます。
(ゼロリセットを実行すると、動作点(検出距離)が変化します。
ゼロリセット前の設定状態により、ゼロリセット後にしきい値表示も変更されることがあります。)

* 「MODEキー」機能の設定を「0RST」(ゼロリセット)に変更しておいてください。
出荷時の設定は「PPT」が設定されています。
➜3ページ「5. 機能を設定したい」参照

SET/RUN切替スイッチを RUN にする。
RUN
(出荷時の設定)
→ MODE 3s

【再度ゼロリセットしたい時】
MODE 3s

【初期の検出量の表示に戻したい時】
DOWN + MODE 同時3s

6-2. 設定キーをロックしたい(キーロック)

キー操作をすべて無効にできます。

6-3. 設定データを初期化したい(イニシャルリセット)

設定内容をすべて初期化し、工場出荷時の状態に戻せます。